

(法第26条第1項関係様式)

平成30年度 事業報告

平成30年度事業計画に基づき以下のとおり事業を実施し、令和元年度5月26日に開催した総会に、監査報告書を添付して当該事項に関わる決算書を諮ったところ議決されたので報告します。

特定非営利活動法人 瀬田川リバプレ隊

1. 事業成果

平成30年度総会で報告された『平成30年度事業計画』を基に理事会の方針に基づき事業を実施した。

1) 高橋川清掃活動瀬田川清掃

平成18年7月より滋賀県エコフオスター事業に参加、当初はリバプレ隊が毎月25日を活動日と定め、高橋川清掃活動を始め、次第に地域住民有志の方が協力参加頂けるようになり、最近では積極的に住民の方々が清掃日前日より除草作業を行って頂き参加地域に定着した月次行事となりました。30年度は瀬田南小学校協力による、ゴミ捨て防止啓蒙ポスターの制作を河川柵に掲示を行いました。他に近隣保育園が幼児教育として、河川周辺、遊園地付近のゴミ拾い等我々と共に実施頂き、環境美化活動への協力理解となる。県立瀬田工業高校化学部の協力により、高橋川の水質調査を6月～11月間実施頂き、綺麗な水質と確認頂きました。30年度は延べ活動参加人数110名となり回収ゴミは可燃ゴミ、不燃ゴミ、ペットボトル、缶瓶等延べ265袋その他不法投棄大型ゴミ自転車等でした。

2) 瀬田川清掃及びコムラサキシキブ維持管理

コムラサキシキブはリバプレ隊発足時に、紫式部にちなみ瀬田川左岸京滋バイパス高架下河川敷に植樹しました。当初は隔月にコムラサキシキブ維持管理を主に実施していましたが、22年2月よりコムラサキシキブ植樹地区上流から下流域まで拡大して、毎月10日を活動日と定めて実施。次第に遊歩道の散策者有志の方、レイカディア大OB等の団体の参加となり。コムラサキシキブ維持管理及び河川敷遊歩道除草作業整備川岸の浮遊ゴミ、藻の回収等実施により散策者等より好評をえています。30年度の参加者は延べ114名、ゴミ回収は可燃ゴミ、不燃ゴミ、ペットボトル、缶瓶等延べ164袋その他不法投棄大型ゴミでした。又26年3月には、国交省近畿地方整備局より「河川協力団体」の指定を受け継続中。

その他清掃活動

滋賀県琵琶湖の日30年は7月1日に滋賀県主催で、瀬田川漁港付近でオープニング開催、知事参加の下、県、市等行政関連、漁協、周辺住民等の参加でリバプレ隊は協働参加しました。他琵琶湖の日、琵琶湖環境美化の日等に、ピアザ淡海から膳所公園までの湖

岸清掃。10月末には、琵琶湖河川事務所主催瀬田川一斉清掃活動に、名神高架下付近から京滋バイパス高架下付近の担当地区瀬田川左岸清掃活動にリバプレ隊として数名が参加協力致しました。

3) 第13回 河川を愛する市民会議

「ふるさとの美しい河川をとり戻すには、今私たちになにができるか」をメインテーマに毎年実施しており、今回はよみがえれマザーレイク～琵琶湖・瀬田川のゴミ～をテーマに開催、私たち瀬田川リバプレ隊は10年来、環境保金は身近なゴミからとの立場から、瀬田川とその支流の高橋川で毎月1回、清掃作業を実施しているがポイ捨てゴミは一向に減ったとは感じられない。このゴミ実情について様々立場から観察分析しようとしている人達を招き例年どおり井阪尚司氏をコーディネーターにシンポジウムを開催した。行政から、国土交通省琵琶湖河川事務所瀬田川出張所長小高茂治氏に瀬田川上流から下流部の天ヶ瀬ダムまでのゴミ処理の実情を含めて、大津市産業廃棄物減量推進課白井崇氏に大津市の実情と考え方を、淡海を守る釣り人の会津熊操氏からは一般的にはゴミを捨てていると思われる立場の釣り人がなぜゴミを拾う立場になったか等について発表頂き、参加者と共に検討討議を実施した。

開催日：10月8日（日）

場所：ウォーターステーション琵琶

参加者：41名

4) 市民会議パートⅡ現地見学会 11月30日（日）参加者22名

10月に実施した、河川を愛する市民会議のパートⅡとして現地見学会を開催。市民会議でのテーマであったゴミ問題に関連してゴミ処理状況を知るための大津クリーンセンターを訪問し説明を受けたセンターで処理されているペットボトル、缶、ガラス瓶等の資源ゴミや大型ゴミの処理状況の説明を受けそれぞれ人力で手間のかかる工程を知る事が出来た。一連の作業を知ることで、家庭からのゴミの出し方、資源循環の重要性について改めて考えることができた。我々琵琶湖・瀬田川周辺で暮らすリバプレ隊員や今回の参加者は瀬田川洗堰・天ヶ瀬ダムなど治水関係の知識を得る為に瀬田川洗堰、天ヶ瀬ダム宇治川にかけて視察見学する事としました、宇治川塔の島付近で、国交省淀川河川事務所森田課長より、瀬田川～淀川の流れを良くするため河川改修工事説明を受け、天ヶ瀬ダムへ、天ヶ瀬ダム再開発工事現場では担当職員、建設工事会社職員より説明を受け、トンネル式放流設備の吐口部分を見学減勢池は日本最大級のトンネルとなる。今後は見る事が出来ない場所を見学出来、NPOとして、我々にとって必要な知識を得る機会となった。

5) 瀬田川流域及び流入河川水質調査

毎年6月第一日曜日に実施される、全国一斉水質環境調査（河川）に参加、瀬田川リバプレ隊は瀬田川他流入河川7河川23定点地点でCOD値、気温、水温目視透明度の測定を実施しました。COD値は2～6mg/lでした。

6月3日（日）実施、参加者7名

尚高橋川に於いては、瀬田工業高校化学部の協力をえて、7月～12月まで毎月水質調査を実施依頼しました。高橋川は綺麗な水と判定されました。

6) 琵琶湖南湖岸 清掃活動

淡海を守る釣り人の会その他との 協力

琵琶湖・瀬田川等で釣り愛好者グループが釣りを楽しんだ後、琵琶湖周辺に散乱しているゴミを問題視して、リパブレ隊等に清掃美化活動への参加依頼を受け、協働活動として活動開始。

参加団体は淡海を守る釣り人の会、コハクチョウを愛する会、ウォーターステーション琵琶の会、県、草津市、河川事務所等と協働にて草津市志那湖岸に漂着ゴミ、ペットボトル、レジ袋、缶瓶等回収活動を実施。30年度は3回行い参加者回数を追うごとに参加団体参加者共に多くなり湖岸や琵琶湖・瀬田川流域への流出ゴミ減少とゴミ捨て防止への広報活動となりました。80名～110名参加あり

7) 出前講座木工教室等

各地区小学校、自治会子供会、環境団体等の依頼により、出前講座と木工教室を29年度は18回実施しました。水源地から琵琶湖までの水環境について里山の役割と山林の保全の関係と間伐の必要性説明を行い、材料は間伐材や廃材を使用した木工教室（フクロウ作り）指導説明を実施しました。

8) 瀬田川左岸ヨシ刈り&研修会 2月2日（土）19名参加

瀬田川左岸名神高架下付近に、小規模なヨシ帯があり、淡海を守る釣り人愛好者、琵琶湖工事事務所等協力により、付近の環境美化活動とヨシの保護育成の為、毎年ヨシ刈り及び周辺清掃を実施、ヨシ刈り終了後に滋賀大学環境学習支援士会、橋田代表より、支援士会の状況説明、支援士会は琵琶湖の環境を学び、琵琶湖を愛し、次の世代へ残していくために、森・川・里・湖をとり戻す出前授業、うみのこ、川の学校、山の子等事前、事後学習支援や情報発信等実施の説明を受けました。

9) 子供環境学習 1月30日 参加者 子供等42名

子供達を対象に環境学習会を行い、子供達に琵琶湖の生き物や魚等及び、昔の生活などを見て、聞いて環境問題や、生態系保全活動について学習会を行い、次世代への引継ぎとして実施。

行き先 滋賀県立琵琶湖博物館、

10) 外来魚駆除釣り大会

県主催外来魚駆除釣り大会 協力事業参加釣り指導500名参加

近江八幡市安土町街づくり協議会より、釣り指導の依頼により釣り大会釣りを共催（7月）60名参加

企業と共催 MS&AD損保会社（10月）により外来魚駆除釣り大会に釣り指導として

参加 350名参加

11) その他

1. 環境フェスター等行事参加 随時
2. 研修会実施等 3回開催

13) 事業の実績に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の 人数	受益者 対象者	支出額 (千円)
高橋川清掃	高橋川清掃と 再生	毎月 25日	高橋川	110名		40
コムラサキ 維持管理	瀬田川清掃と コムラサキ 維持管理	毎月 10日	瀬田川左岸	114名		30
河川を愛す る市民会議	市民団体の ネットワーク	H.30 10/8	大津市	4名	41名	95
現地見学会	環境保全活動 地区見学研修	H30 11/30	大津市 環境美化セ ンター 京都府 天ヶ瀬ダム	2名	20名	95
河川 水質調査	瀬田川他 流入河川 水質調査	H30 6/4	瀬田川他 流入河川	6名		23
外来魚駆除 釣り大会	外来魚駆除 釣り大会により 生態系保全活動	H27 6/6 他	琵琶湖	8名	300名	82
大石 生き物調査	大石地区環境 保全活動普及 子供達生き物 観察	中止	瀬田川下流 大石地区	名	名	
瀬田川左岸 ヨシ刈り	ヨシ刈りと 環境研修会	H31 2/3	瀬田川左岸 名神高架下	4名	15	11
出前講座	里山と水環境 からの木工教室	随時 18回	滋賀県下 各地	13名	111名	99
子供 環境学習会	子供達に次世代 引き継ぐ活動	H29 12/20	京都 水族館他	5名	42名	78

平成30年度 収支計算書
平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

特定非営利活動法人瀬田川リパブレ隊
理事長 富岡 親憲
(単位:円)

科 目	金 額	
(資金収入の部)		
I 経常収入の部		
1 会費・入会金		
会費入金	63,000	63,000
2 事業収入		
木工教室指導料	66,850	
現地見学会参加料	5,500	
外来魚釣大会指導料	95,445	167,795
3 助成金・補助金		
公益財団法人 河川財団	242,300	
一般社団法人 近畿建設協会	285,000	
公益財団法人 イオン環境財団	178,445	
大津市	26,265	732,010
4 その他		
瀬田漁港謝礼	3,000	
預貯金利息	20	
交通費受入 (公)河川財団	32,460	35,480
資金収入合計		998,285
(資金支出の部)		
II 経常支出の部		
1 事業費		
こども環境学習会	77,516	
瀬田川・高橋川草刈り・清掃	69,955	
水環境調査	23,500	
現地見学会	94,612	
ヨシ刈り	11,469	
木工教室	99,448	
河川を愛する市民会議	57,896	
外来魚 釣り大会	82,245	
他団体への行事参加	12,370	
リパブレ便り発行	15,529	544,540
2 管理費		
一般管理費	327,577	327,577
経常支出合計		872,117
(正味財産増減の部)		
III 当期正味財産増加額		126,168
前期繰越正味財産額		1,967,826
次期繰越正味財産額		2,093,994

平成30年度 事業会計貸借対照表

平成31年3月31日現在

特定非営利活動法人瀬田川リバプレ隊

理事長 富岡 親憲

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
手許現金	61,938		
郵便貯金	1,304,145		
普通預金	727,911		
流動資産合計		2,093,994	
2 固定資産			
固定資産合計			0
資産合計			2,093,994
II 負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計			0
2 固定負債			
固定負債合計			0
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		1,967,826	
当期正味財産増加額		126,168	
正味財産合計			2,093,994
負債及び正味財産合計			2,093,994

平成30年度 財産目録

平成31年3月31日現在

特定非営利活動法人瀬田川リパブレ隊

理事長 富岡 親憲

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金	現金手元有高	61,938
郵便貯金	大津神領郵便局	1,304,145
普通預金	滋賀銀行瀬田支店	727,911
流動資産合計		2,093,994
2 固定資産		
固定資産合計		0
資産合計		2,093,994
II 負債の部		
1 流動負債		
流動負債合計		0
2 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		0
正味財産合計		2,093,994